

5. 糖尿病重症化予防「フットケア」研修

- 1) 日 程 令和6年7月30日(火)・7月31日(水)
 2) 受講対象 糖尿病足病変患者の看護に従事した経験を5年以上もち、2日間の全日程に参加可能でかつ所属長が推薦する者
 3) 定 員 30名程度
 4) 申込期間 令和6年5月16日(木)～5月31日(金) 詳しくは香川県看護協会ホームページをご覧ください。
 申込み用紙はホームページからダウンロードし、期間内に郵送してください。
 5) 受講料金 会員22,000円 香川県看護協会非会員38,500円
 駐車料金 会員 300円/1日 香川県看護協会非会員 700円/1日
 6) 修了証 この研修は糖尿病合併症管理料に関する施設基準の適切な研修の要件を満たすものであり、修了証を発行します。
 7) プログラム ※研修内容については、変更になる場合があります。

月 日	時 間	テーマ	ねらい	内 容	講 師
7/30 (火)	8:30 ～ 9:30	講義1 糖尿病患者の療養を支えるフットケア	患者の糖尿病や足の状態を捉えると共に、セルフケア状況までを含めた評価を行ったうえで、その患者に適したフットケアの方法を考え、継続的に実践していくセルフケア支援のプロセスである。このような糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する	糖尿病患者の足への関心/足の状態を共通理解するための働きかけ/足を見る、足に触れるということ/足を見るのを促す、足に触れるのを促すということ/足のケアを通して患者の生活を理解すること/療養を支えるフットケア～継続する大切さ/チーム医療における看護師が行うフットケアの意味	高松赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 林 顯憲
	9:40 ～ 11:10	講義2 糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①	糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況を理解し、患者の足の状態と取り巻く状況を含めてリスクをアセスメントできる	アセスメントとは/記録用紙の使い方と意味/糖尿病患者のハイリスク評価/足の状態を捉える/全身状態を捉える/セルフケア状況の把握/生活状況を捉える	高松赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 林 顯憲
	11:20 ～ 14:00 (休憩50分 含む)	演習1 糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント	糖尿病患者へのフットケアにおける足の状態のアセスメント及び、足病変のリスク評価の技術を学ぶ	デモンストレーション/参加者がペアになり演習(姿勢、歩き方、足の外観を捉える、知覚および血流の状態、靴や靴下の観察、生活状況、足の手入れの状況の確認、フットケア記録用紙の活用など)	回生病院 糖尿病看護認定看護師 西山 紀子
	14:00 ～ 16:00	講義3 糖尿病患者の足病変 病態生理から治療まで	糖尿病患者の足病変、病態生理、治療、検査について理解する	糖尿病足病変の病態生理/糖尿病神経障害の検査/血流障害の検査/糖尿病足病変の治療	キナシ大林病院 糖尿病専門医・指導医 石田 俊彦
	16:10 ～ 16:40	講義4 糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント②	アセスメントの統合と足病変リスク評価に伴う課題抽出過程を理解する	アセスメントの統合/足病変のリスク評価/課題の抽出過程の解説	回生病院 糖尿病看護認定看護師 西山 紀子
	16:50 ～ 18:00	講義5 フットケアの実際 予防のためのセルフケア支援	糖尿病患者がおかれている状況やリスクの評価を基に、その患者に適したセルフケア支援につながるフットケア実践を学ぶ	予防のための方法(清潔を保つ、感染を防ぐ、蒸れを防ぐ、圧迫、ずれを避ける)/セルフケア支援のためのポイント)	回生病院 糖尿病看護認定看護師 西山 紀子
7/31 (水)	8:30 ～ 8:50	演習2 事例分析と評価①	事例を把握し、フットケア計画の立案につなげることができる	事例の説明	屋島総合病院 糖尿病看護認定看護師 岡田 亜子
	9:00 ～ 11:40	演習3 フットケアの実際 予防のためのセルフケア支援①	糖尿病患者へのフットケアの予防のためのセルフケア支援技術を経験し、身につける	デモンストレーション(患者の足を見る、触れる/アセスメントをする/必要なケア内容を検討する/処置を行う)セルフケアに向けての支援/演習	回生病院 糖尿病看護認定看護師 國村 昭子
	12:30 ～ 14:30	演習4 事例分析と評価② アセスメントと問題点の抽出	足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案するーアセスメントから問題点の抽出ができる	事例検討 (グループでディスカッションと全体討議)	屋島総合病院 糖尿病看護認定看護師 岡田 亜子
	14:40 ～ 16:40	演習5 事例分析と評価③ ケア計画立案	足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案するー看護問題から課題とフットケア方法を決定する	事例検討 (グループでディスカッションと全体討議)	屋島総合病院 糖尿病看護認定看護師 岡田 亜子
	16:50 ～ 17:50	演習6・講義6 今後の糖尿病重症化予防(フットケア)の活動に向けて～自施設における今後の活動計画～	自施設において、フットケアを実践するための方略を考える。糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題を理解し、予防的フットケアを実践するためのチーム及びシステム作りを考える。	自施設における今後のフットケアの活動計画を立てる/診療報酬における糖尿病重症化予防(フットケア)の位置づけ/予防的フットケアを実践するためのチーム医療及びシステム作り	回生病院 糖尿病看護認定看護師 國村 昭子
研修生の 準備物品	1日目の準備物品:5.07モノフィラメント、打腱器、128Hz音叉、時計、竹串1本、鉛筆、紙用ハサミ、メジャー(足測定) 2日目の準備物品:爪切り用ニッパー(直)、フットケア用ゾンデ(爪のわき、皮膚との間をきれいにする道具)、タオル2枚、ガラス製爪やすり、ディスポ手袋、ディスポエブロン、マスク、ウエットティッシュ、アルコール綿、ゴミ袋、保湿クリーム、(あれば角質削り) *爪切りを行いますので、各自両足の爪を伸ばしてきてください。角質、胼胝等の足の手入れはせずにご参加ください。				
テキスト (必須)	「糖尿病看護フットケア技術(第3版)」日本看護協会出版会 *第2版をお持ちの方はそれもお持ちください。 「糖尿病療養指導ガイドブック(最新版)」メディカルレビュー社 *テキストは事前に読んでおいてください。				
周知事項					